



和泉のヒマワリがあなたの笑顔を待っています！

開花に向けて手入れを行う伊原代表(右)と加藤英利副代表(左)

いずみネットワーク

い原 良平 代表

なぜ花を植える
 ことになったの
 ですか？

「いずみネットワー

団体の発足の経緯は？

「いずみネットワーク」は和泉地区約140戸全ての住民を会員とし、23名の委員を中心に活動しています。約70アールの広さの畑に春には菜の花、夏にはヒマワリの花畑をつくっています。また、地域環境の保全のため、用水掘の清掃や農道の点検、生き物調査なども行っています。

団体の活動内容は？

夏に咲き誇るヒマワリ。日光市和泉には、多くのヒマワリを見ることのできる場所があります。8月の開花に向けて、ヒマワリ畑をつくる「いずみネットワーク」の伊原良平代表に話を伺いました。

見頃はいつですか？

お盆の8月15日に見頃になるようにヒマワリの種を蒔いています。ただ、近年は猛暑の影響で見頃は8月10日頃に早まることもあります。天候や気温にもよりますが、8月1日〜20日頃まではヒマワリを楽しむことができると思います。

ヒマワリを植えてなにか変化はありましたか？

まず、地域の雰囲気明るくなりなりましたよね。お盆には帰省してきた家族連れなども多く訪れ、地域がにぎやかになります。また、和泉は日光地域の玄関口にあたります。今市インターから日光に向かう観光客に見てもらえれば、日光をさらに楽しんでもらえるはずです。

インタビューを終えて

「地域のみんなで楽しみながら活動しています。ヒマワリの開花などの成果を考えてやっているの、大変なことはないんですよ」活動のご苦労をお聞きしたときの伊原代表の言葉です。地域、そして観光客のため、ヒマワリを植える「いずみネットワーク」。伊原代表の顔は満開のヒマワリのよう笑顔で輝いていました。

「ク」は、地域で耕作されない水田いわゆる遊休農地が生じていたため、解消するために何かできないか、と考えていました。道路沿いに遊休農地が集まっていたこともあり、地域の人だけでなく、ドライバーも楽しめるのではないかと、地域景観の向上と地域おこしの一環で、平成28年から春には菜の花、夏にはヒマワリを植えることになりました。

来場者へのメッセージをください

新型コロナウイルス感染症の影響で、いろいろな大変な状況ですが、ヒマワリの咲く頃に来ていただければ、最高の楽しみが味わえます。ヒマワリは自由に摘んで持ち帰ることもできますので、ぜひご家族で楽しんでください。



令和元年のヒマワリ畑の様子

※ヒマワリ畑の場所…和泉348周辺(平ヶ崎交差点から西へ約1km)。約50台駐車可能な駐車場あり
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密集せずに、他の人と間隔を空けながら観賞してください